

哲学思想基本研究Ⅱ(その4)

2単位 3年(後期)

石田三千雄・教授/人間文化学科

【授業目的】カントの『人倫の形而上学』第二部「徳論の形而上学的基礎論」を読んで、倫理学の基本概念についての考え方を学ぶ。

【授業概要】カントの「徳論の形而上学的基礎論」は徳や義務について詳細に論じている。徳論は、内的立法のみが可能な法則を対象とし、行為主体に選択の余地がある義務を主題としている。徳論にかかわる義務は自己自身による強制が可能である。『人倫の形而上学』第二部を読むことによって、徳義務のさまざまな問題を考えてみたい。

【キーワード】カント、徳、義務

【関連科目】『哲学思想基本研究Ⅰ(その4)』(0.5)、『哲学思想基本研究Ⅲ(その4)』(0.5)

【履修上の注意】演習形式で授業を進めるので、演習時間毎に予習が不可欠である。学生諸君の積極的な参加と準備・議論を期待する。

【到達目標】カントの徳の概念について自分で考え、討論することができる。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 2～3 徳論への序論(8):良心について
3. 4～5 徳論への序論(9):尊敬について
4. 6～7 人倫の形而上学の一般的原則
5. 8～9 徳一般について
6. 10～11 徳論を法論から分ける原理について
7. 12～13 徳と自分の支配
8. 14 徳と無情念
9. 15 レポートの課題提示
10. 16 総括授業

【成績評価】毎回の出席状況、議論状況を基本に評価し、学期末にレポートを課す。

【再試験】行わない。

【教科書】授業の時に資料を配付する。

【参考書】『世界の名著 32 カント』中央公論社

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218884>

【連絡先】

⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィス
アワー: 水曜日 14時～15時)